



大正14年(1925)1月の『婦女界』新年号附録の双六（縦53cm×横76cm）です。

【遊び方】この双六は、あらかじめ制限時間を決めて行います。まず、左右の端にあるメダルのようなものを切って用意し、上がりの「最高レコード」のところに置いておきます。出発地「ヒコウジョウ」に駒を置き、順番にサイコロを振って出た数の目だけ左に進みます。これを滑走といい「リリク」の目にちょうど止まったときだけ次の番で上に進むことができます。「リリク」に止まらないと「カクノコ」まで行き、ここで止まると2回休みとなります。ちょうど目の数でないときは後戻りします。上が上がっていく途中に「アキキリュウ」「コシヨウ」のところに止まると、点線矢印のところへ着陸または進路変更となります。「ツイラク」は出発地に戻り、「トップウ」は次の番の1回はサイコロの目だけ後戻りします。無事上がりの「最高レコード」に到着すると、メダルが1個もらえます。メダルをもらったら、出発地に戻り再び進みます。こうして、上がりに達することにメダルをもらい、制限時間内で多くのメダルを獲得した人が勝ちとなります。